

巨匠、復活!!

フランス最高峰のヴァイオリニスト、いま復活!!

ジャン=ジャック・カントロフ

Jean-Jacques Kantorow Violin Recital

ヴァイオリン・リサイタル (ピアノ：上田晴子)

2019年3月、来日予定!



ヴァイオリン封印宣言から7年、待望久しいリサイタルが実現します!

これまで長きにわたってフランス・ヴァイオリン界の最高峰として、ソロ、室内楽、そして教育活動と、世界中で著しく活躍してきたマエストロ、**ジャン=ジャック・カントロフ**。2012年、突如、今後は指揮活動に専念し、ヴァイオリン演奏は封印する、と宣言、世界中のファンを驚かせました。その後は、多くのヨーロッパのオーケストラを指揮し、ヴァイオリン演奏と同様、端正な指揮振り、と流麗かつ幅広いレパートリーで、ソリストやオケからの信頼も厚く、ファンを魅了しております。日本では、V.メンデルスゾーン、藤原真理との「モーツァルト・トリオ」での活動も知られており、その高度なテクニックと音楽は多くのファンが認めるどころです。そのマエストロ、ジャン=ジャック・カントロフが満を持して、ヴァイオリンの演奏活動を再開する、と発表。この2017年春より始動致します。ラヴェルやフォーレなど定番のフランスの作曲家の作品を中心に、知られざる名曲も披露したいなど、並々ならぬ意欲を燃やしている御年72歳のマエストロの演奏は、一聴の価値大です。ピアノは長年の名パートナー、**上田晴子**です。

ジャン=ジャック・カントロフ (ヴァイオリン、指揮) Jean-Jacques Kantorow (Violin, Conductor)

1945年、カンヌ生まれ。13歳でパリ国立高等音楽院のルネ・ベネデッティエーのクラスに入学を許され、1年でブルミエ・プリを取得。

1962-68年の間に10以上の国際コンクールで受賞(特に、ロンドンのカール・フレッシュ国際コンクール、ジェノヴァのパガニーニ国際コンクール、ティボール・ヴァルガ国際コンクールでは優勝を果たした)。19歳にてカーネギーホールでのデビューを飾ってからは、世界中でソリスト、室内楽奏者(G・クレメル、K・ツィメルマン、P・トルトリエ等のトップ・アーティスト達とも共演)として活躍。ヴァイオリニストとしての活動の他、オランダ室内管弦楽団、オーヴェルニュ室内管弦楽団、パリ管弦楽団アンサンブル、フィンランドのタピオラ・シンフォニエッタ、スペイン・グラナダ市立交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団を始めとして、多くのオーケストラの常任指揮者を務める。2008年までパリ国立高等音楽院のヴァイオリン科教授を務める他、世界中でマスタークラスを持ち、教育にも力を入れる。録音も、ヴァイオリニスト、指揮者として、これまでにDENON、EMI、Erato、ALMなどのレーベルで行い、その数は数百に及んでいる。受賞アルバムも多く、フランスのディアパゾン・ドール賞の他、日本では多くが「レコード芸術」誌で「特撰盤」に選ばれている。2012年より、ヴァイオリニストとしての活動を止めていたが、2017年春より再開する。



コンサート内容・スケジュール・公演料など、お気軽にお問い合わせください。

オザワ・アート・プランニング合同会社 (担当：小澤貴広) Tel: 090-8492-6450 Fax: 03-5994-0939

お問い合わせは info@ozawa-art.com